

みらいをつくる

発行: 泉佐野市教育委員会
教育部【2025年1月7日】

「佐野中フェスタ」が開催されました!

前日に雨が降り、天候が心配されましたが、当日はみんなの願いが通じたかのように雨が上がり、さわやかな風が吹く秋晴れの下、10月19日(日)に佐野中学校において「すこやかフェスタさの」が開催されました。

オープニングセレモニーでは地域教育協議会会長、泉佐野市長のあいさつに続き、第二小学校の保護者有志「さくらんぼ」によるコーラスが披露されました。「アンパンマンマーチ」では、会場から手拍子が自然と鳴り響き、温かい雰囲気に包まれました。

その後、佐野中学校吹奏楽部の演奏がありました。佐野中学校校歌、Mrs. GREEN APPLEの「Sorajji」の壮大で美しい演奏の後、西城秀樹の「ヤングマン」が演奏され、部員の合図に合わせて、みんなで「Y/M/C/A」と身振り手振りし、会場は大盛り上がり!最高のフェスタの幕開けとなりました。



演奏した中学生は、「お客さんが乗ってくれて楽しかった。緊張したけど皆さんに聞いてもらえてうれしかった」と話してくれました。

10時から運動場で、ミニロケットが打ち上げられたのを合図に、屋外スペースで佐野中学校区の地域教育協議会のメンバーである青少年指導員や各校PTA、地域の各種団体の方々や中学校の生徒会などのゲームや模擬店が開店し、どのブースにも行列ができるほどの大賑わいとなりました。ターゲットボールにコイン落とし、スーパーボールすくい、輪投げ、スタンプラリー、オセロ、豆つかみなどの遊べるブースに加え、お茶やジュース、ソースせんべいやパンの販売、アルファー化米試食、ひもくじなど工夫を凝らした内容がたくさんあり、参加者は思い思いに楽しんでいました。



ミニロケットを飛ばした小学生は「高く飛んでうれしかった」と笑顔で話してくれました。また「よい雰囲気でたくさんの人に来てもらえてうれしい。皆さんに楽しんでほしい」と運営に参加していた小学校の先生も話していました。「昨年も来て楽しかった。知り合いの方とも話せる場になってよかった」と親子で来場された方もうれしそうに話してくれていて、佐野中校区の子どもたちを中心として、地域・保護者・学校のつながりが強まり、きずなが深まる1日となりました。

第三中学校区地域教育協議会「和い輪いまつり」開催!

10月19日(日)、北中小学校において第三中学校区フェスタ「第21回和い輪いまつり」が開催されました。200人近くの子もたちが参加し、保護者、スタッフも含めると300人以上の方が集まりました。

オープニングセレモニーでは北中小学校による合唱が行われ、体育館に歌声が響いていました。各ブースでは、子どもたちがスタートを楽しみに待っていました。フェスタの開始とともに、体育館内には子どもたちの楽しそうな笑顔があふれていました。

今年度も、多くの方が参加し地域の交流やふれあいの輪を広げることができたと感じました。



爽やかな秋晴れ! 「ふれあい長南」

11月8日(土)、長南中学校区フェスタ「ふれあい長南」が開催されました。

当日は好天に恵まれ、爽やかな秋晴れの空のもと、大勢の人でにぎわいました。運動場では、参加者がドッジボール投げやストラックアウトなどに全力投球したり、車いす体験等で学びを深めたりするなど多くの催し物を楽しみました。また、運動場の中心には機関車が登場し、子どもたちは大喜びで乗車していました。校内でも、紙でつくった魚釣りコーナーやオセロ・将棋コーナーで楽しんだり、レザークラフトやプラバンづくり等の体験活動に参加したりする姿が見られました。11月ということもあり、風が吹き、日陰にいると肌寒く感じるタイミングもありましたが、そんな時は炊き出しの豚汁で体も心もあたたまっていました。大勢の参加者の笑顔に溢れ、地域、学校、そこに携わるすべての人々の思いがつながり合うようなあたたかいフェスタでした。

最後は参加者全員による大抽選会がおこなわれました。ワイヤレスイヤホンやタブレットなど、豪華景品を獲得する参加者もあり、当選者が発表されると大歓声があがり、最後まで大盛り上がりでした。令和7年度の「ふれあい長南」は大盛況のうちに幕を閉じました。

